

論点メモ(吉川座長試案)

新しい国内措置の見直しに伴うリスク評価

1、BSE検査

— 諮問内容 —

と畜場におけるBSE検査対象月齢の見直し
BSE検査技術の高度化についての研究

2、特定危険部位の除去・交差汚染防止

と畜場におけるSRM管理状況の実態調査の定期的実施
SRMによる枝肉等の汚染防止措置の評価方法に関する研究開発

3、飼料規制の実効性確保の強化

肉骨粉輸入禁止(実施)に加え、飼料の輸入、販売、使用段階における
検査・指導など交差汚染防止対策の強化(届出義務)
個体識別制度、死亡牛検査の確実な実施

4、調査研究の推進

牛などの接種実験など調査研究の一層の推進

わが国における20ヶ月齢以下の牛に由来するリスクの定量的評価

検討すべきデータ

- ・英国の自然発症年齢をどう評価するか？
- ・英国の実験感染例の評価：感染価の考え方
- ・日本のBSE検査データの評価
- ・英国の飼料規制等の効果
 - 日本でのと畜・飼料規制の検証、評価
- ・日本での飼料規制等のリスク回避効果・予測
- ・わが国における今後の20ヶ月齢以下の牛に由来するリスクの定量的評価